

会員投稿

## 『読書雑感』

尾島町 伊沢 昭一郎

今回の会員投稿欄が空きそうになって来た。岩松編集委員(事務局担当)が、前々から計画を立て苦労しながら、なんとかつないできたが、今回はフサガラナイという。

お前がピンチヒッターをせよという、ご下命である。それでやむを得ず、最近読んだ下記のご紹介をして、穴埋めとしますので、悪しからずご了承ください。

## 「隠し剣狐影抄」

藤沢 周平著

本著者は、時代小説の第一人者と言われて、一時期もてはやされたので、ご存知の方も多いと思う。

本編が代表作とは、いえまいが作者の特徴がよく出ているのではないか。

鶴岡市に生れた著者は、同市を彷彿させる架空の“海坂藩”を作り上げ、ここに生活する武士達の物語を展開する。「隠し剣」というタイトルの如く、剣の奥義を極めた達人にのみ、伝えられた秘伝を一度使うと、多くは不幸への道を歩むことになる。

秘剣と展開の面白さに、つい引き込まれてしまう。

## 「俺ガンだぞ。文句アッカ。」

川上 宗薫著

本編は後に「死にたくない!」と改題されて、上梓されるが発表時のタイトルは、上記の通りであった。

この人は「ポルノ小説の名手」と書けば、思い出す人も多いに違いない。もてたワリには図書館には、ほとんど著書がないのである。なぜか。展開する場面が、総てエッチで馬鹿馬鹿しいからである。健全な青少年のタメにならないと判定されたい。小生はその軽妙な所・ダメな所が好きなのだが。著者はこれを発表してから(S57年頃)まもなくガンで他界した61歳であったという。

(注)両編共かなり以前に発表されたものですが文庫本での入手は可能と思います。念の為。

## パソコンサークル活動報告 &lt; No. 1 &gt;

去る8/7(月)午後(組合事務所)出席者14名により初回Meeting実施。  
先ず「何から始めるか?」を探る為、全員からパソコンの有無、実力?の程度、等など意見を聴取。続いて今後の進め方について検討。

結果: 1. スタートは「Word」(文書作成)とする。

2. 成果目標: 11/E迄に「2001年の年賀状」を作成する。

3. 次回は10月2日(月)14:00~16:00 労組事務所で開催します。(by:chiba)

以上